

若い「ちから」爆発



3月23日、錦江町中央公民館において、肝属地区青年祭が開催され町民の方などが多数来場されました。

ステージでは青年団による絵本の朗読や演劇などのパフォーマンスなどが披露され、また一般の参加者による寸劇や南大隅高生によるダンスなどもあり、会場は大いに盛り上がりました。お昼には青年団手作りの豚汁も振る舞われ、来場者から好評を博していました。

当日は、あいにくの天気のため空席が目につきましたが、一生懸命な青年の姿に、熱いものが込み上げてきました。

ぼくもママも むし歯ゼロ♪



3月14日、平成19年度の「母と子のよい歯のコンクール」で奥一真くん、麻由子さん親子（京町自治会）が県内14,022組の中から知事表彰を受け、更には日本歯科医師会の県代表賞も受賞されました。これは、子どもだけでなく、母親も歯や歯肉が健康なことが条件であり全国でも対象になる親子は数えるほどで、錦江町では初めての栄誉ある賞です。麻由子さんは「子どもと一緒にこんな賞をいただけて光栄です。これからも家族みんなで健康な歯を守っていききたいと思います。」と素敵な笑顔で答えて下さいました。

地域みんなで 楽しい遠足



3月7日、大原小学校のお別れ遠足が行われ、今年は「大牟礼林道を歩こう」ということで全校児童17名、先生、地域の方々を含め約40名と一緒に歩きました。

「かごしま探検の会代表理事 東川隆太郎氏」から大牟礼林道について、田代は海路が無いことや、花瀬川は石畳みで船で物を運ぶことができなかったこと。外の地域とつなぐには道路を整備しなければならなかったことなど田代の道路状況など楽しく教えていただき、また地域の方々からは、戦争中はここで出兵する兵隊を見送ったなどと、教えていただき、楽しい春の遠足でした。

癒しのひととき



3月10～13日の4日間、デイサービスセンターまつさきの利用者が「葉牡丹」を鑑賞に行きました。葉牡丹は花瀬公園に植えられていて、一株から約70もの花を咲かせています。

ボランティアで花の世話をしている大城和八さんが写真などを使い、花の育て方などを丁寧に説明され、中には「これから葉牡丹を育ててみたい」という方もいらっしゃいました。

綺麗な花を見て、心が癒されるひとときでした。

地域と共に



昨年、企業誘致により本町と立地協定を締結した(有)ウッドテック鹿兒島の落成披露が新しく完成した工場内で行われました。

式典では、町長が「錦江町に貢献いただくことに感謝し、この地での限りない繁栄を祈念します。」と祝辞を述べると、宮園浩之社長は「皆様のご協力のもと、一生懸命頑張っています。」と話されました。

共に繁栄することを願います。

未来へはばたけ！



3月8日、肝属地区の2市4町合同で自衛隊入隊(入校)者の壮行会が開催されました。

今年度は、本町から5名の方々が入隊(入校)することになり、5名の入隊(入校)者の方々については、錦江町出身という、誇りと自信を持って、故郷を忘れることなく、勉学に、訓練に頑張ってください。

皆さんの大いなる活躍を期待します。